

第 148 回企業経営動向調査

調査要領

- (1) 調査対象企業社数 450 社（回答企業社数 322 社、回答率 71.5%）
- (2) 調査時点 平成 24 年 2 月下旬～3 月中旬
- (3) 調査対象期間 実績：平成 24 年 1-3 月期（平成 23 年 10-12 月期対比）
見通し：平成 24 年 4-6 月期（平成 24 年 1-3 月期対比）

（注）本文中にある「D. I. 値」は「Diffusion Index」の略で、前期と比較した企業の業況判断等の方向性を指標化したものである。この指標は水準を表すものではない。算式は有効回答企業社数の合計を 100%として「良い」「増加」「上昇した」などとする企業の割合（%）から、「悪い」「減少」「下落した」などとする企業の割合（%）を差し引いた数値である。

概況

1. 平成 24 年 1-3 月期の「全産業」の業況判断 D. I.（「良い」－「悪い」）は前回調査 ▲2 から ▲5 と「悪い」超幅が 3 ポイント拡大した。平成 24 年 4-6 月期の「全産業」の業況判断見通し D. I. は +3 と「良くなる」超に転じると見込んでいる。1-3 月期は欧州不安や円高などの景気下押し要因は緩和されてはきたものの、原油高などのコスト不安も一方で拡大していることが企業の慎重姿勢を維持させているとみられるが、4-6 月期には円高の是正や震災の復興需要が顕在化してくるとみて、業況は改善する方向にあると見込まれている。
2. 業種別では「製造業」は ▲2 と前回調査 +5 から「悪い」超に転じた。平成 24 年 4-6 月期の業況判断見通し D. I. は +7 と「良くなる」超に転じると見込んでいる。「非製造業」では ▲9 と前回調査 ▲9 と同値であった。平成 24 年 4-6 月期の業況判断見通し D. I. は ▲2 と「悪くなる」超幅が今期の「悪い」超幅より縮小すると見込んでいる。（図 1、表 1）
3. 各種判断項目では「生産販売」D. I. が ▲4 と前回調査 +8 からマイナスとなり減少した。平成 24 年 4-6 月期の「生産・販売」見通し D. I. は +5 と、タイの洪水などの影響もなくなるとともに復興需要の顕在化や海外経済の持ち直しから増加すると見込んでいる。

1 業況判断

(1) 群馬地区

1. 平成24年1-3月期の「全産業」の業況判断D. I.（「良い」－「悪い」）は▲2と前回調査+3から「悪い」超に転じた。平成24年4-6月期の「全産業」の業況判断見通しD. I. は+1と「良くなる」超となると見込まれている。今回の業況判断の背景には欧州債務問題が一服したことや円高修正による収益環境の改善があるものの、一方で原油高によるコスト上昇要因などの悪材料が加わって企業の業況に対する判断が慎重になったものと見られる。先行きは円高の是正や復興需要の顕在化などで業況の改善が期待されていると見られる。

2. 業種別では「製造業」は+4と前回調査+13から「良い」超幅が縮小した。「非製造業」は▲7と前回調査▲6から「悪い」超幅が1ポイント拡大した。平成24年4-6月期の見通しでは「製造業」が+7と業況改善が進展すると見込んでいる。「非製造業」は▲3と「悪くなる」超幅が今期の「悪い」超幅より縮小すると見込んでいる。

個別業種でみると、「製造業」は電気機械(▲14)の業況が悪化しているが金属製品(+14)一般機械(+34)は好調を維持している。輸送用機械(±0)の業況判断は前回並みとなっている。1-3月期の見通しでは金属製品、その他製造以外は業況の改善が進む若しくは維持すると見ている。「非製造業」については、卸売(+6)小売(+7)がプラスとなったが建設(▲36)サービス(▲4)はマイナスとなった。ただし、4-6月期の見通しでは、サービスは大きく改善すると見込んでいる。(図2、表2)

(2) 埼玉地区

1. 平成24年1-3月期の「全産業」の業況判断D. I.（「良い」－「悪い」）は▲7と前回調査▲8より1ポイント「悪い」超幅が縮小した。平成24年4-6月期の「全産業」の業況判断見通しD. I. は+6と「良くなる」超に転じ、このところの低迷していた業況から改善されると見込んでいる。

2. 業種別では、「製造業」は▲1と前回調査の▲1と同値で足踏み状況となった。「非製造業」では▲12と前回調査の▲16から「悪い」超幅が4ポイント縮小した。平成24年4-6月期の業況判断見通しD. I. は「製造業」では+10と「良くなる」超となると見込んでいる。「非製造業」も+1と「良くなる」超となると見込んでいる。

「製造業」の個別業種でみると繊維(+33)金属製品(+7)その他製造(+5)は「良い」超となり業況は上向いているが、一般機械(▲22)は「悪い」超に転じ、輸送用機械(▲7)はマイナスが続いた。「非製造業」の個別業種でみると建設(±0)が保ち合いとなったが他の業種はマイナスと厳しい状況となった。4-6月見通しでは卸売(+33)サービス(+10)は「良くなる」超となるなど、底打ちから改善へ向かうと見込んでいる。(図3、表3)

2 生産・販売

平成 24 年 1-3 月期の「全産業」の生産・販売 D. I.（「増加した」－「減少した」）は▲4 と「減少した」超に転じた。業種別でみると、「製造業」は+3 と増加の勢いは落ちたが引き続き増加している。「非製造業」は▲12 と前回調査▲4 に比べ「減少した」超幅が 8 ポイント拡大した。

平成 24 年 4-6 月期の「全産業」の生産・販売見通し D. I. は+5 と「増加する」超となっていることから、生産販売は改善すると見込んでいる。（図 4）

3 仕入価格

平成 24 年 1-3 月期の「全産業」の仕入価格 D. I.（「上昇した」－「下落した」）は、+14 と前回調査+9 から「上昇した」超幅が 5 ポイント拡大した。業種別では「製造業」は+10 と前回調査+12 より「上昇した」超幅が 2 ポイント縮小したが、「非製造業」は+16 と前回調査+5 から「上昇した」超幅が 11 ポイントの大幅な拡大となった。

平成 24 年 4-6 月期の「全産業」の仕入価格見通し D. I. は+9 と「上昇する」超となり、上昇傾向が続くと見込んでいる。（図 5）

4 販売価格

平成 24 年 1-3 月期の「全産業」の販売価格 D. I.（「上昇した」－「下落した」）は、▲7 と前回調査▲7 と同値であった。製造業は▲11 と前回調査▲7 より 4 ポイント「下落した」超幅が拡大した。非製造業は▲3 と前回調査▲8 に比べ「下落した」超幅が 5 ポイント縮小した。

平成 24 年 4-6 月期の「全産業」の販売価格見通し D. I. は▲4 と「下落する」超幅が縮小傾向にあるが、販売価格の下落傾向の継続を見込んでいる。（図 6）

5 在庫・在庫水準

平成 24 年 1-3 月期の「全産業」の在庫 D. I.（「増加した」－「減少した」）は+1 と前期に続き「増加した」超となった。

平成 24 年 4-6 月期の「全産業」の在庫見通し D. I. は▲1 と「減少する」超となり今期より在庫は減少すると見込んでいる。（図 7）

平成 24 年 1-3 月期の「全産業」の在庫水準 D. I.（「多い」－「少ない」）は+8 と「多い」超幅が前回調査+8 と同値であった。

平成 24 年 4-6 月期の「全産業」の在庫水準見通し D. I. は▲2 と「少なくなる」超となり、在庫水準が調整されると見込んでいる。（図 8）

6 資金繰り

平成 24 年 1-3 月期の「全産業」の資金繰り D. I.（「楽である」－「苦しい」）は▲6 と前回調査▲8 に比べ「苦しい」超幅が 2 ポイント縮小した。

平成 24 年 4-6 月期の「全産業」の資金繰り見通し D. I. は▲6 と「苦くなる」超幅が当期の「苦しい」超幅と同値となると見込んでいる。（図 9）

7 採算

平成 24 年 1-3 月期の「全産業」の採算 D. I.（「良くなった」－「悪くなった」）は▲12 と前回調査▲7 と比べ 5 ポイント「悪くなった」超幅が拡大した。

平成 24 年 4-6 月期の「全産業」の採算見通し D. I. は▲5 と、「悪くなる」超幅が当期の「悪くなった」超幅に比べ縮小し、前期より採算の悪化速度は緩やかになると見込んでいる。（図 10）

【当面の経営上の課題】

「製造業」は当面の経営上の課題のトップは「売上・受注不振」で回答企業の 49.7% となった。2 位には「競争激化」が 42.4% と続いている。「非製造業」は「競争激化」が 70.7% とトップとなっている。2 位は「売上受注不振」で、56.1% の割合となった。

製造業では、「円高」を課題としている企業が 27.9% あり、引き続き大きな課題となっているほか、「機械設備の老朽」が 26.7% と重要度が上昇していて、潜在的に設備の更新需要が高まってきていると見られる。

表1 業況判断

全体	23年			24年	
	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し
食料品	▲ 24	14	0	▲ 6	32
繊維	▲ 50	75	0	0	20
木材・木製品	▲ 20	25	0	▲ 50	0
窯業・土石	▲ 16	▲ 12	▲ 11	0	9
金属製品	▲ 26	13	11	6	▲ 5
一般機械	▲ 45	5	11	▲ 7	25
電気機械	▲ 23	▲ 14	22	▲ 9	25
輸送用機械	▲ 63	55	11	▲ 4	4
その他製造	▲ 23	2	▲ 3	0	▲ 5
製造業 計	▲ 31	13	5	▲ 2	7
建設	▲ 29	▲ 11	▲ 8	▲ 19	▲ 22
不動産	▲ 20	▲ 40	▲ 40	▲ 33	0
卸売	▲ 35	▲ 4	▲ 19	▲ 4	▲ 4
小売	▲ 33	▲ 9	▲ 10	▲ 3	▲ 2
サービス	▲ 40	▲ 10	0	▲ 7	18
非製造業 計	▲ 34	▲ 10	▲ 9	▲ 9	▲ 2
全産業 計	▲ 32	2	▲ 2	▲ 5	3

図1 業況判断

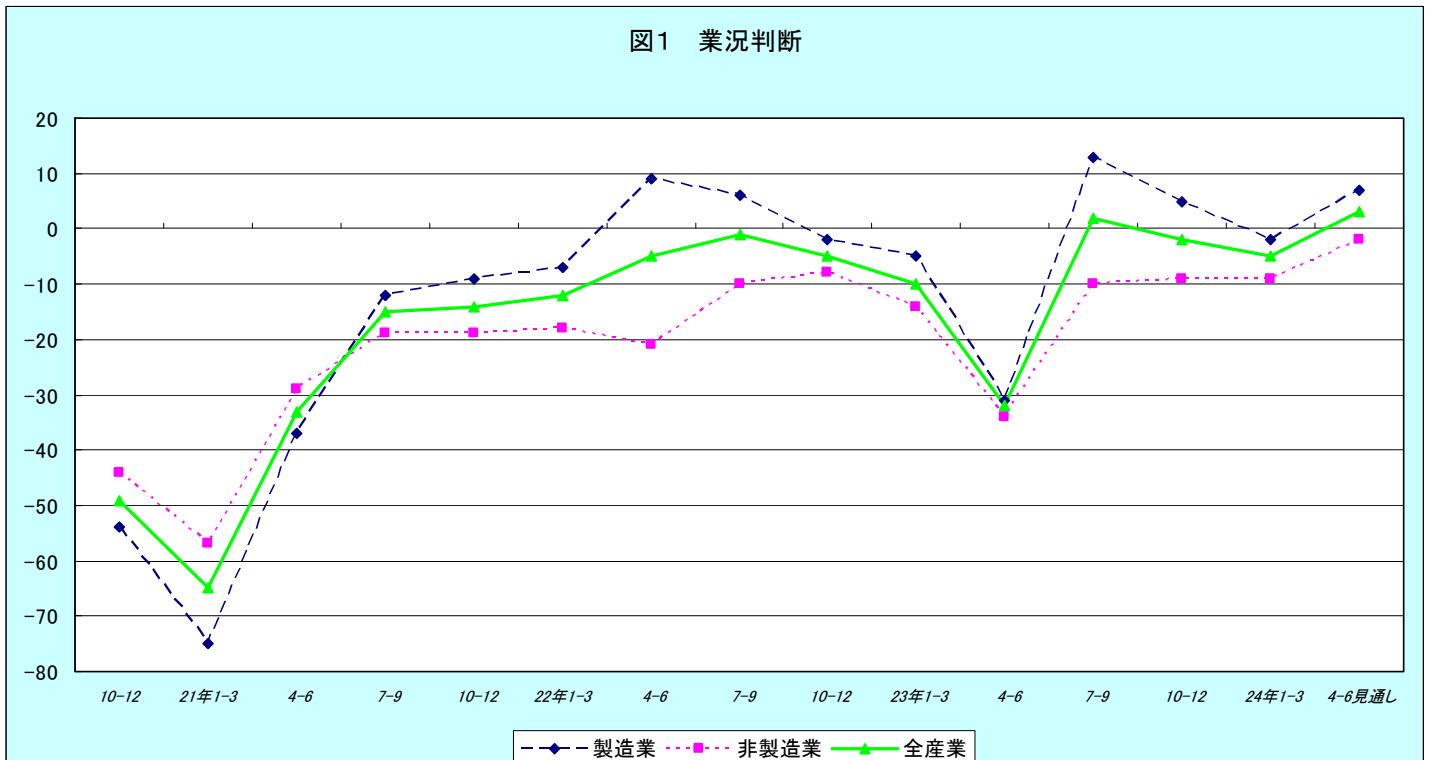


表2 業況判断

群馬県	23年			24年	
	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し
食料品	▲ 20	34	6	9	50
窯業・土石	▲ 25	▲ 25	20	0	28
金属製品	▲ 37	25	14	14	▲ 14
一般機械	▲ 40	28	42	34	33
電気機械	▲ 13	▲ 28	25	▲ 14	28
輸送用機械	▲ 75	50	28	0	0
その他製造	▲ 18	5	▲ 6	0	▲ 25
製造業 計	▲ 33	20	13	4	7
建設	▲ 35	▲ 9	▲ 11	▲ 36	▲ 23
卸売	▲ 35	▲ 5	▲ 18	6	▲ 24
小売	▲ 34	3	▲ 4	7	0
サービス	▲ 36	0	8	▲ 4	23
非製造業 計	▲ 36	▲ 3	▲ 6	▲ 7	▲ 3
全産業 計	▲ 35	8	3	▲ 2	1

図2 群馬県・業況判断

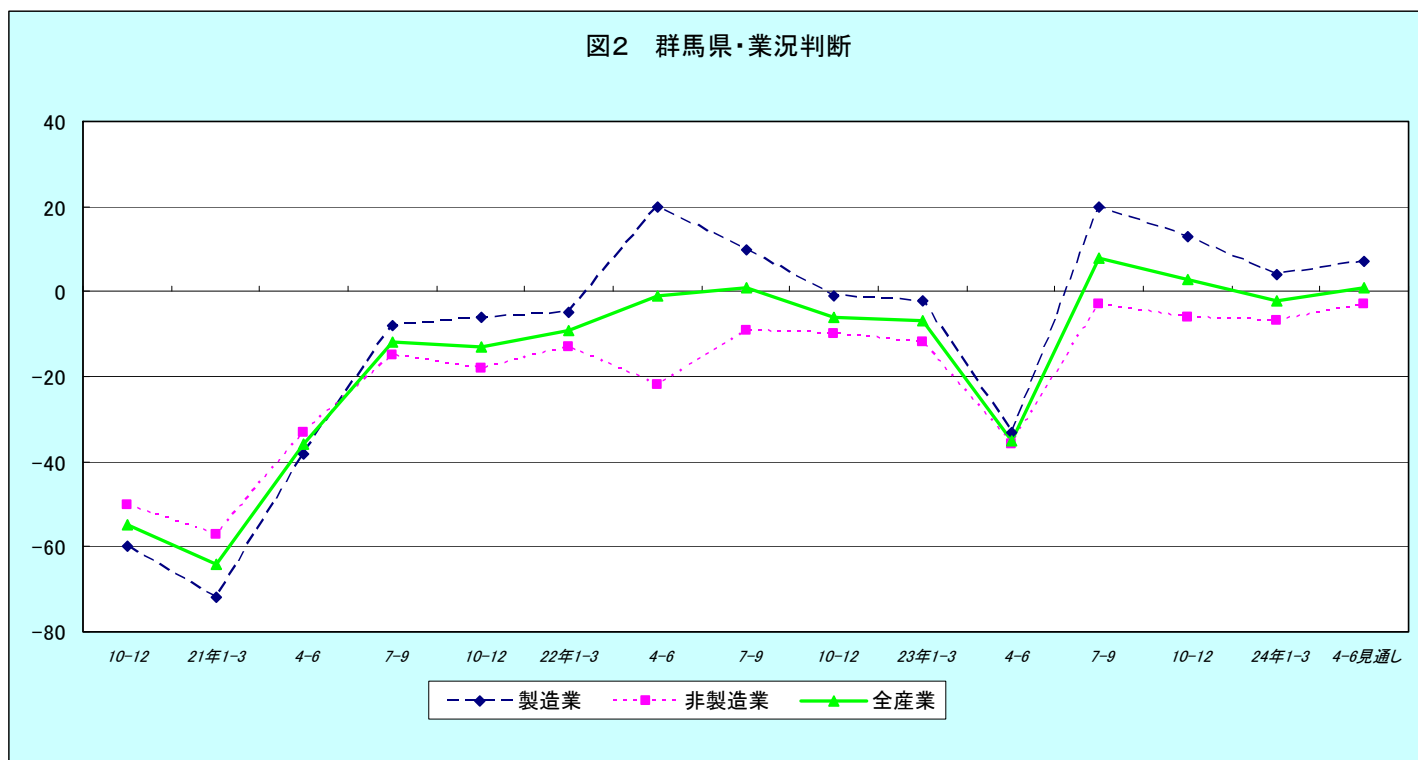


表3 業況判断

埼玉県	23年			24年	
	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し
食料品	▲ 20	▲ 20	▲ 20	▲ 20	20
繊維	0	100	0	33	33
木材・木製品	0	0	0	0	▲ 100
金属製品	▲ 21	0	0	7	14
一般機械	▲ 37	▲ 20	11	▲ 22	11
電気機械	▲ 40	0	20	0	20
輸送用機械	▲ 60	66	▲ 10	▲ 7	8
その他製造	▲ 25	0	5	5	9
製造業 計	▲ 28	7	▲ 1	▲ 1	10
建設	▲ 18	▲ 12	▲ 6	0	▲ 16
不動産	0	▲ 25	▲ 25	▲ 33	0
卸売	▲ 57	▲ 25	▲ 28	▲ 22	33
小売	▲ 32	▲ 33	▲ 23	▲ 20	▲ 7
サービス	▲ 43	▲ 30	▲ 14	▲ 10	10
非製造業 計	▲ 30	▲ 23	▲ 16	▲ 12	1
全産業 計	▲ 29	▲ 7	▲ 8	▲ 7	6

図3 埼玉県・業況判断

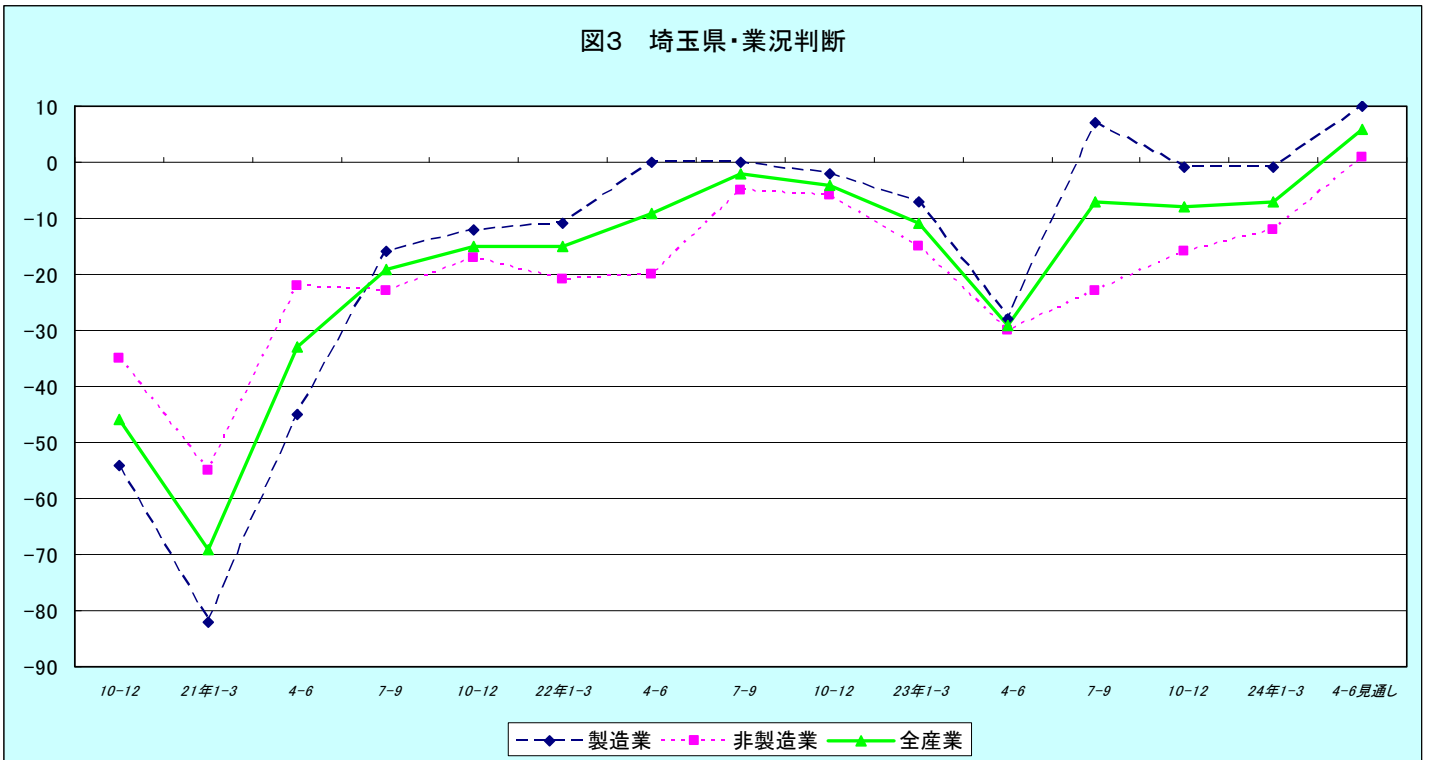


図 4

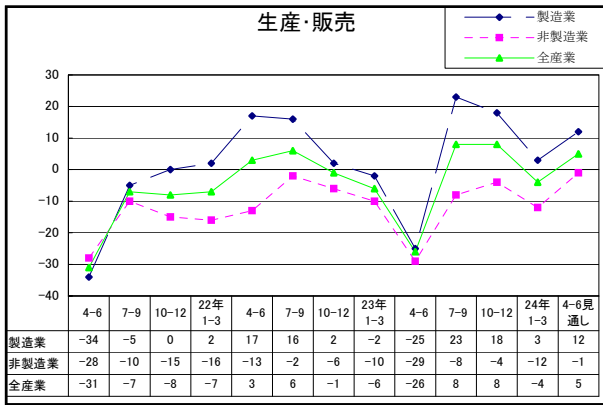


図 5

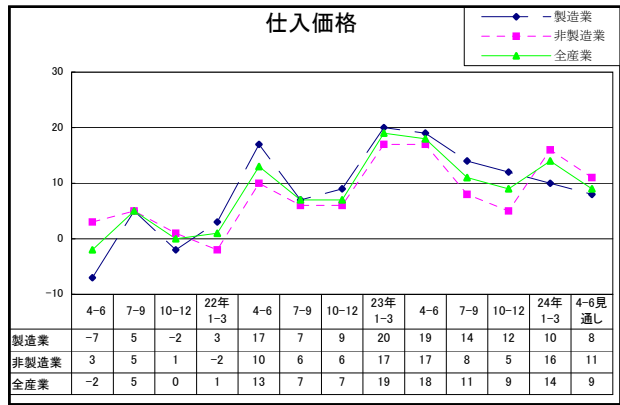


図 6

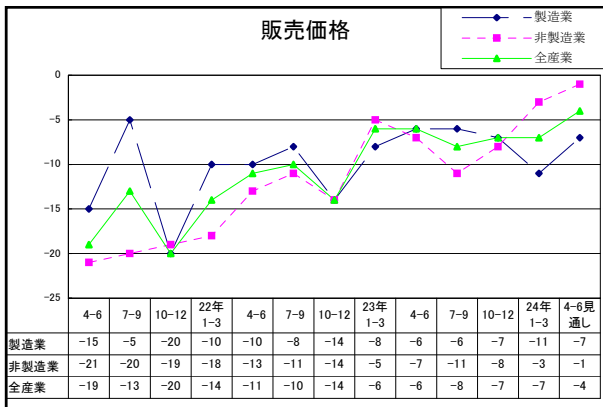


図 7

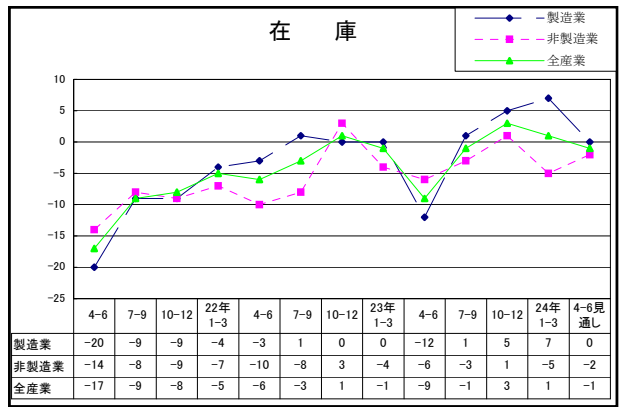


図 8

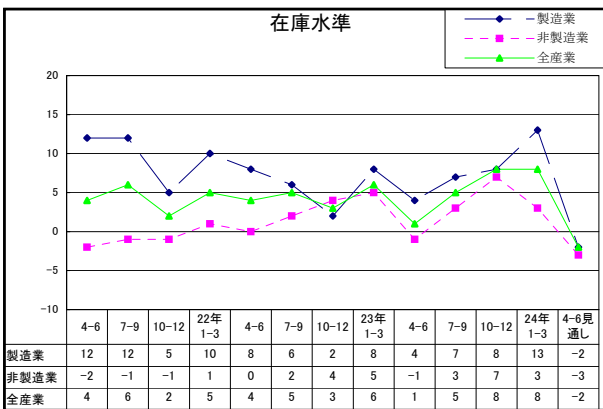


図 9

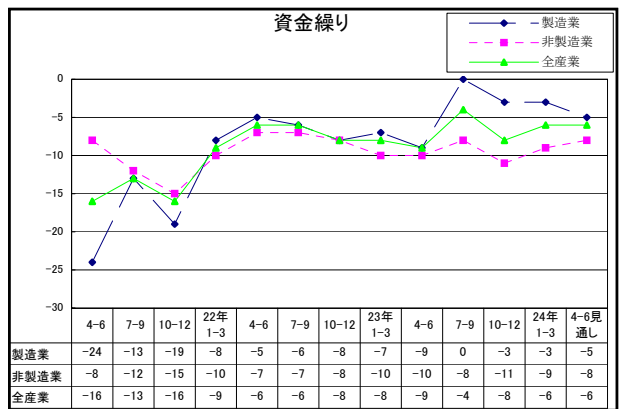
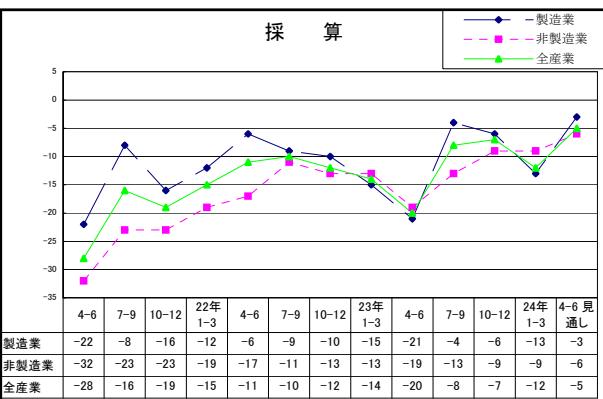


図 10



148回 当面の経営上の課題

